

8月臨時会

令和2年第4回江田島市議会臨時会を8月7日(金)に開催しました。市長による諸般の報告の後、議員発議の決議案1件の審議を行い原案のとおり可決、引き続き1件の報告を受け、一般会計補正予算案の審議を行い、原案のとおり可決し閉会しました。

議案

議員発議

胡子雅信議員に対する議員辞職勧告決議

専決処分の報告

和解及び損害賠償の額の決定

車両損傷事故による損害の賠償。
【賠償金額】
37万1800円

歳入歳出補正予算

※千円単位の端数は四捨五入

会計名	補正増減(△)額	補正後の額	補正の主な内容
一般会計(第3号)	4億1,744万円	188億5,911万円	【歳入】 国庫支出金、県支出金、諸収入の増額および繰入金の減額を計上。 【歳出】 新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増額を計上。

議員の出席状況

※各委員会等への議員出席状況です。「○」は出席、「欠」は欠席、「病」は病欠欠席、「公」は公務欠席、「委」は委員長、「副委」は副委員長、「こ」は未開催日を表しています。

【常任委員会】

委員名 開催日	総務常任委員会					文教厚生常任委員会				
	委	副委				委	副委			
7月3日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○
7月17日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
8月4日	-	-	-	-	-	○	○	公	○	欠
8月21日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
9月3日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○
9月25日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○
9月29日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-

【特別委員会】

委員名 開催日	議会広報特別委員会					議会改革推進特別委員会				
	委	副委				委	副委			
7月2日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
7月9日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
7月15日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
7月31日	-	-	-	-	-	○	○	欠	○	○
9月2日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
9月30日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-

【議会運営委員会・全員協議会】

委員名 開催日	議会運営委員会					全員協議会												
	委	副委																
7月29日	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月31日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8月25日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月2日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9月29日	病	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



9月定例会 一般質問

質問者 9人

主要地方道高田沖美江田島線の高祖バイパスについて問う

酒永 光志議員

答 全線の早期供用開始に全力で取り組む

【市長】平成8年に着工、現在も工事中の高祖バイパスの進捗状況を伺う。

【市長】起点側の20m区間に1カ所の家屋があり、現在、交渉継続中です。県としては、今年度中に契約を締結し、家屋移転後、速やかに工事に着手し、早期の供用を目指すと考えています。

【土木建築部長】バイパス完成後の残地は、道路用地として取得したものであるため、道路施設としての利用が基本ですが、沿道の利用状況や市民の要望等を踏まえ、幅広く検討すると県からは聞いています。

【土木建築部長】県は、現在、令和3年度を初年度とする5カ年の道路整備計画を検討中です。機会を捉え、地元の見をしっかりと県に要望していきます。

員によるパトロールのほか、地域住民や利用者からの通報により、異常箇所を確認し、緊急度に応じて補修等を行っています。

清掃員の配置、地域住民が自主的に行う道路清掃活動に対するアダプト制度の充実、イノシシ11番の設置等、できる限りの対策を行っています。

【市長】延長約880mのうち、起点側の400mについては、20mの区間を残し、暫定完成であり、終点側の480mの区間は、道路の盛り土や側溝等の整備を施工中です。

引き続き、県と連携し、早期のバイパス全線の供用開始に向け、全力で取り組めます。

【市長】本路線に多く残されている狭路区間解消に向けて、市の考えを伺う。

【市長】市道および農道の維持管理・保全の現状と対策を伺う。

また、道路の清掃等は各自自治会にご協力をいただいておりますが、空き家や耕作放棄地の増加により、民有地の樹木繁茂や有害鳥獣による落石での通行支障等、新たな課題が増加しています。

今後も、地域の皆さまや企業の皆さまにご協力いただき、より効率的な維持管理ができるよう、道路保全に取り組めます。

【酒永】完成までの施工スケジュールおよびバイパス全線の最終的な供用開始は。

【酒永】バイパス完成後の残地(県有地)の管理・活用策は。

【市長】市道および農道の維持管理については、職

員によるパトロールのほか、地域住民や利用者からの通報により、異常箇所を確認し、緊急度に応じて補修等を行っています。

また、道路の清掃等は各自自治会にご協力をいただいておりますが、空き家や耕作放棄地の増加により、民有地の樹木繁茂や有害鳥獣による落石での通行支障等、新たな課題が増加しています。

今後も、地域の皆さまや企業の皆さまにご協力いただき、より効率的な維持管理ができるよう、道路保全に取り組めます。